

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成31年3月28日(木)発行 第 48 号 発行責任者:高橋 弘悦

お世話になりました

転出のご挨拶

平成30年度末人事異動で、本校から5名の教職員が転出します。保護者の皆様には大変お世話になりました。本校で培った力を、新任地でも発揮してくれるものと思います。今後ともご指導、ご鞭撻お願いいたします。

「初めての・・・」

金川 純

(会津美里町教育委員会へ)

おかげさまで充実した3年間を過ごさせていただきました。その3年間のキーワードは「初めてのこと」。

新任教頭として柳津中学校に赴任し、「初めての場所」に「初めての仕事」。これまでの20数年の教員生活はほとんど役に立たず、途方に暮れることもしばしば……。そんな中で私の心を支えてくれたのは同僚の教職員はもちろん、常に明るく振る舞う生徒たちや保護者の皆様方でした。生徒たちの笑顔と真摯に学習に向かう姿勢、新任教頭にもかかわらず信頼してくださる保護者の方々。その期待に応えようと前に向かって進む大きな力をいただきました。

そして「初めての中学校」。今年度柳津・西山、両中学校が統合し会津柳津学園中学校が誕生しました。校舎はそのままでしたが中身は全く違う新しいもの。初めてのこと故、詳細を決めるのに多く労力と時間を費やしましたが、そこで過ごした生徒たちの笑顔でその苦が報われました。特に最後の卒業式は感動的で、統合中学校の大成功を実証してくれました。

人間なかなか初めてのことに踏み出せないもの。でも一歩踏み出すと必ず大きな感動と成果を得ることができます。これから私もそして生徒のみなさんも初めての環境に踏み出します。失敗を恐れず果敢に挑戦し、大きく成長してください。私はこれからもみなさんと会津柳津学園中学校のサポーターとして応援しています。

大変お世話になりました。



「退職にあたって」

渡部 典男

(退職)

教員生活を終えるにあたって、この柳津町には縁があつて柳津中学校・西山中学校それぞれ2回勤務することができました。どちらの学校も自然に恵まれ、穏やかでのびのびと成長する姿が見られ、地域との一体感が感じられるとても過ごしやすい環境だと思いました。素直で明るい生徒達にも恵まれとても楽しく勤務することができました。さすがに各学校2回も勤務すると教え子だった生徒が保護者として再会できたことは驚きでしたし、自分も年をとったなと実感しました。また、最後の1年は統合で会津柳津学園中学校となり柳津・西山の生徒が一つになり、あらゆる活動の場面で協力して一緒に仲良く活動する姿を見ることができとてもうれしく感じました。これからも新たな伝統を作り上げ、更なる進化を続け躍進して欲しいと思います。至らない点多々あったかと思いますが本当にお世話になりました。ありがとうございました。



「新しい出会い」

山田 雄一
(福島県立会津学鳳中学校へ)

私の誕生日に花火を打ち上げてくれる柳津町に赴任して、2年間という短い間でしたが、とても充実した毎日を送らせていただきました。

特に、昨年度の町内2校の閉校、そして会津柳津学園中学校の開校という大きな節目の瞬間に立ち合わせていただけたのは、自分の教員人生でも思い出に残るものとなりました。

昨年度は閉校記念誌の編集作業を任せていただいたり、今年度は国語教師にも関わらず特設合唱部の指揮を振らせていただいたり、初代の卒業生を担当し、感動的な卒業式を挙げさせていただいたりという、貴重な経験もさせていただきました。男子バレー部でも、数々の全会津での優勝や県大会出場を経験し、県代表選手として全国大会へ出場する生徒を輩出することもできました。

こんなにたくさんの素晴らしい経験ができたのも、同僚の先生方に恵まれ、保護者の皆様に支えられ、何よりも子ども達が頑張ってくれたおかげです。会津柳津学園中学校の素直で優しい生徒達に囲まれて過ごした2年間は、とても幸せでした。本当にありがとうございました。

今回、卒業した3年生のみなさんと同じように、自分も新たな環境で新たな一步を踏み出すことになりました。新しい環境での新しい出会いは、自分を成長させてくれます。私もこの会津柳津学園中学校での経験を糧に、柳津の子ども達の頑張りに負けないよう自分自身を磨いていきたいと思います。

在校生のみなさんも、新しい先生方との出会いを大切に頑張ってください。これからもみなさんの活躍を応援しています(^_^)v



「贈り物」

猪股亜希子
(会津美里町立新鶴中学校へ)

小さな頃からともに学び、遊び、諸行事に取り組んできた、素直で優しい生徒達。お忙しい中、保護者会や学校行事、部活動の送迎や応援等に、いつも快くご協力下さった保護者の皆様。野球について何一つわからない私を、全面的に支えて下さった町の皆様。戸惑うことが多く、なかなか自信をもって行動できない私を、いつも力強く支えて下さった校長先生を始め、諸先生方。

三年間、本当にありがとうございました。

今年度末に行われた感動的な卒業式。これこそが、会津柳津学園中学校だと感じました。各教室の清掃や飾り付け、長机やパイプ椅子の運搬など、それぞれの係に分かれ、率先して活動した一・二年生。放課後の合同練習の甲斐もあり、精一杯心を込めて歌うことができました。大きな声で堂々と卒業証書を受けとり、ステージで誇らしげに掲げた三年生。涙ながらに懸命に歌うその姿には、通い慣れた学舎を巣立つ決意を感じました。

これらの貴重な思い出こそが、皆様からいただいた何よりの「贈り物」だと感じています。今になって改めて気付くことの多さに驚き、また、感謝の気持ちを直接お伝えできないのが大変心残りです。

皆様からいただいた「贈り物」を胸に、新任校でまた一からスタートする所存です。本当にありがとうございました。

本校のさらなるご発展とご活躍を祈念しております。



「ありがとうございました！」

高橋 幸子
(退職・喜多方市立高郷中学校へ)

日本の人口比率を比べてみると、みなさんのような12歳～15歳は約463万人。一方、私のような45歳～49歳は約866万人。その中の79人とひとりが出会う奇跡。それを考えると不思議な巡り合わせですね。

私は2学期からの勤務でしたので、久しぶりの中学校に加えて校内合唱コンクールの練習がちょうど始まるこの時期、初日は心臓が口から飛び出しそうなくらい、緊張していました。しかし、朝の活動で行っていた合唱練習での歌声を聞いた瞬間、一気に緊張が和らぎ感動したのを覚えています。歌声はもちろん、全校生が一つの曲を一生懸命歌う姿は本当に素晴らしいものでした。

日々の音楽の授業や統合されて初めての文化祭・校内合唱コンクール、卒業式・式歌など、どれをとっても思い出深く、すべてが会津柳津学園中学校の新しい一步を踏み出した、記念すべき素晴らしい足跡となったように思います。そんな素敵な年に、緑が広がる大自然と木の温かみのある校舎、机や椅子、本当に素晴らしい環境の中で過ごせたこと、歌声からも伝わってくる素直で明るい会津柳津学園中学校のみなさんとお出會ったことに心から感謝いたします。

7ヶ月間という短い間でしたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

